

PEARL DRUMS

VISION

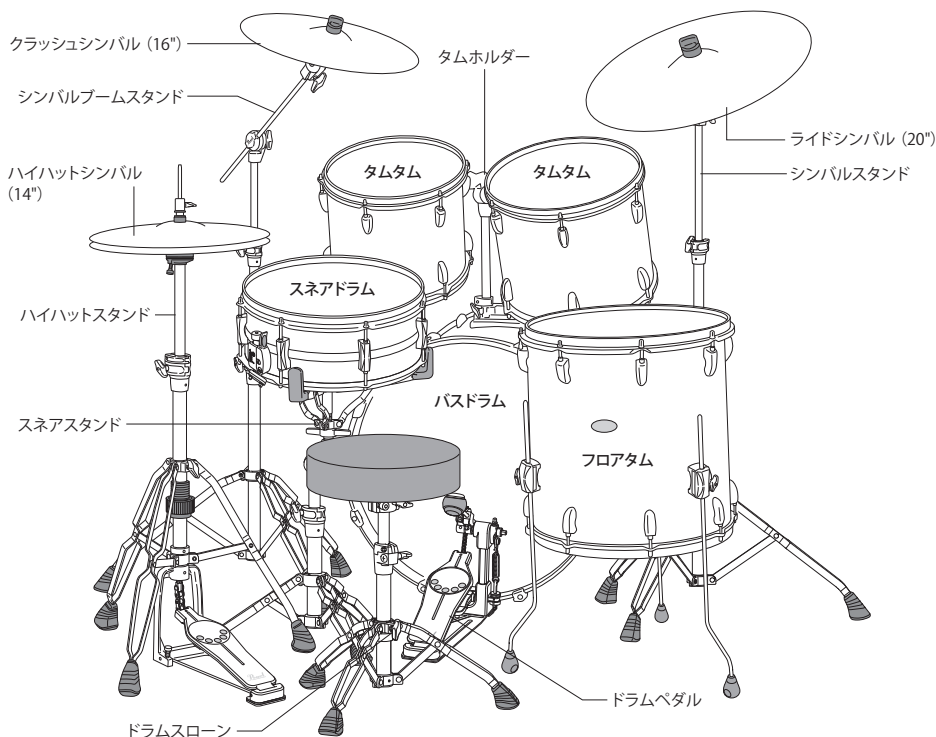
VBL・VBA・VB

EXPORT

EXX

取扱説明書

このたびは、パールドラムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をご覧ください。



ドラムセット完成参考図

※このマニュアルに掲載されているイラストは、VISIONシリーズ、930シリーズスタンドです。
※シンバルはオプションです。

バスドラムの組み立て

バスドラムはシェル、バスドラムフープ、ヘッドとパーツが別々に梱包されていますので、下記の順で組み立ててください。

1. シェルをフロント側（バスドラムスパーの付いている方）を上にして床に置き、Pearl ロゴのあるフロントヘッドをかぶせ、バスドラムフープを平らな方を下にしてのせます（図1）。

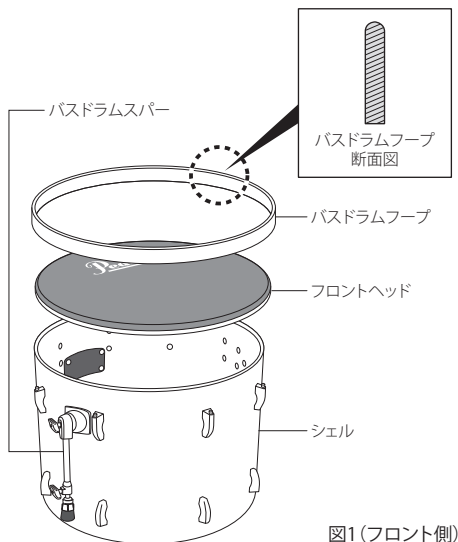


図1 (フロント側)

ヒント

フロント側には、フーププロテクター（図4）がついていないバスドラムフープをご使用ください。

2. テンションボルトをフックに通しラグにねじ込みます（図2）。指先で2~3回締めたあと、付属のチューニングキーを使って締めつけます（この取扱説明書末尾の「基本的なチューニング」をご参照ください）。

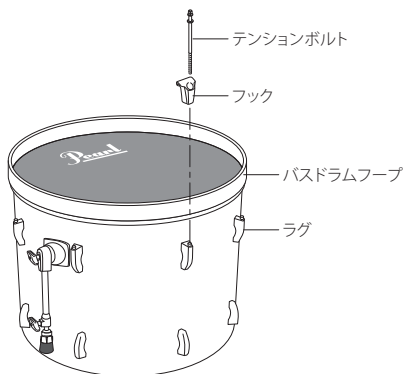


図2

3. シェルの反対側（打面側）を上にして、フロント側同様にヘッドとバスドラムフープをシェルにのせます。バスドラムフープはフーププロテクターがタムホルダーベースの反対側になるよう位置を調整してください。バスドラムフープの位置が決まりましたら、フロント側と同じ手順でテンションボルトをフックに通してラグに取り付けてください。

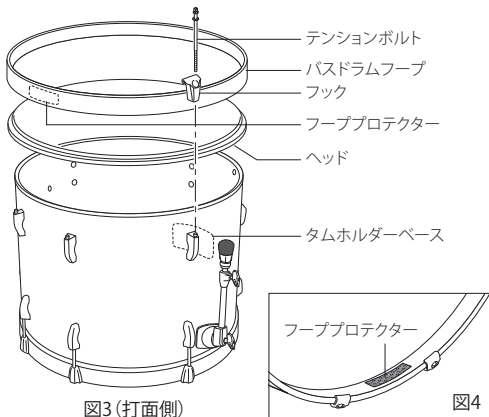


図3 (打面側)

図4

4. タムホルダーベースを上にしてバスドラムを床に置きます。バスドラムスパーのウイングナットをゆるめ、図5の位置にくるように回転し、ウイングナットを締めて固定します。次にウイングボルトをゆるめ、フロント側のフープが床から2cmほど浮くようにスパーを伸ばします。このとき左右のスパーが同じ長さになるようにしてください。バスドラムスパーは床とのズレを防止する剣先を装備しています。必要に応じてロックナットとラバーチップを時計方向に回して剣先を出してください。

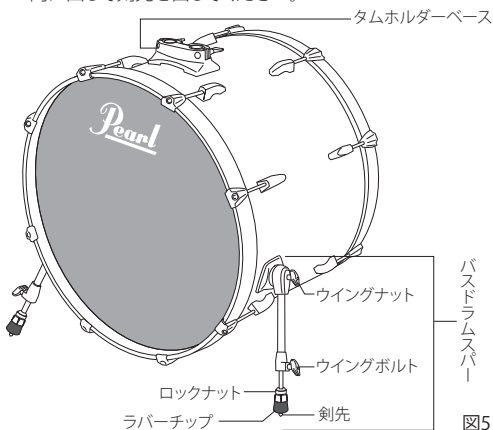


図5

注意

ケガの恐れがありますので剣先をご使用の際は取扱いに十分ご注意ください。また、剣先を出してのご使用は床を傷つける場合がありますので、厚手のカーペット等の使用をおすすめいたします。

フロアタムの組み立て

フロアタムはシェル、スチールフープ、ヘッドとフロアタムレッグが別々に梱包されていますので、下記の順で組み立ててください（EXPORT のフロアタムはヘッドが既に取り付けられていますので、4 の手順にお進みください）。

1. シェルを図 6 のように打面側を上にして床に置き、ヘッドをかぶせ、その上にスチールフープをのせます。

ヒント

VBL/VBA の打面側にはピンストライプのヘッドを、VB の打面側には厚いクリアーヘッドを使用してください。

2. スチールフープにテンションボルトを通し、ラグにねじ込みます。指先で 2~3 回締めたと、付属のチューニングキーを使って締めつけます（この取扱説明書末尾の「基本的なチューニング」をご参照ください）。
3. ボトム側も同じ手順でヘッドとスチールフープを取り付けます。
4. フロアタムレッグをレッグブラケットに差し込みます。フロアタムがお好みの高さ・角度になるよう調節し、ウイングナット/ウイングボルト* を締めて固定します（図 7）。

* VISION ではウイングナット、EXPORT ではウイングボルト仕様になっています。

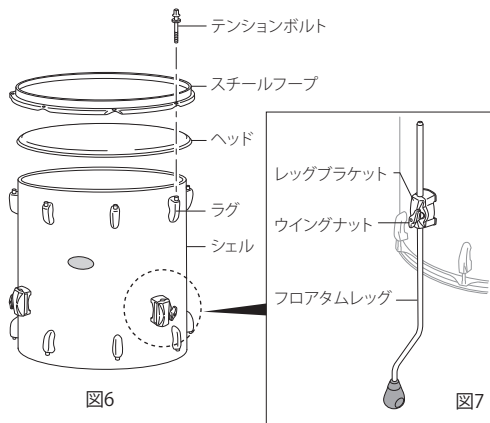


図6

図7

I.S.S. の取付け (VISION シリーズのみ)

VISION シリーズのタムタムには I.S.S. マウンティング・システムが標準装備されています。この I.S.S. は簡単に取り外しができ、ヘッドの交換が簡単にできます。

I.S.S. 本体フックのキーボルトを付属のチューニングキーを使ってゆるめます。図のようにタムタム打面側のフープにフックを引っかけて、ベースプレートをフープのエッジの下にはめます（図 8）。I.S.S. 本体が二つのテンションボルトの中心にくるように位置を調整し、フックのキーボルトを付属のチューニングキーでしっかりと締めて固定します（図 9）。

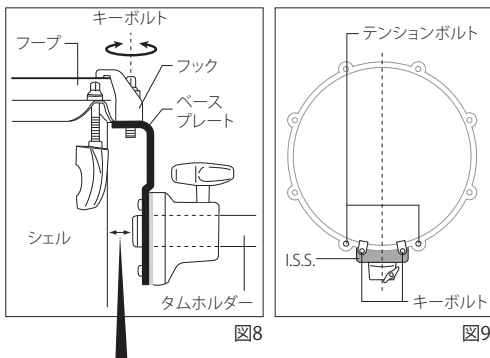


図8

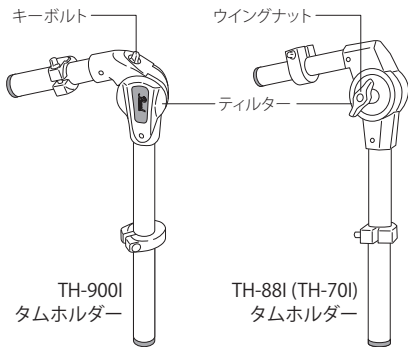
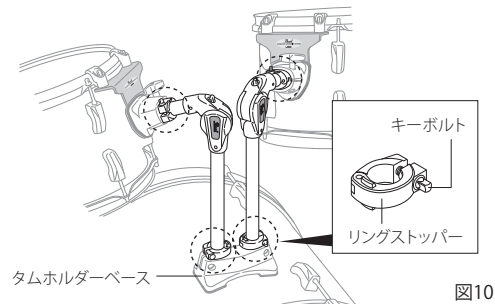
図9

注意

シェルを傷つけるのを避けるために、タムホルダーと、シェルが直接接触れないように気を付けてください。

タムタムのセッティング

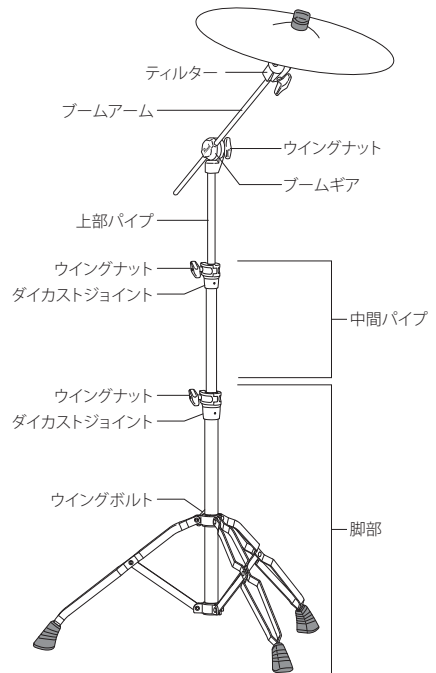
タムホルダーの長い方のパイプを図 10 のようにバスドラムのタムホルダーベースに差し込み、タムホルダーベースのウイングナットを締めて固定します。次にタムホルダーをタムタムに取り付けやすい角度に調整します。TH-900I タムホルダーの場合はティルターのキーボルトをチューニングキーで、TH-88I・TH-70I タムホルダーの場合はウイングナットをそれぞれゆるめて調整し(図 11)、角度が決まりましたらキーボルト・ウイングナットをしっかりと締めます。続いてタムタムをタムホルダーの短い方のパイプに取り付け、タムタムのマウントのウイングナットを締めて固定します。演奏しやすい位置にタムホルダーの高さ、角度を調整してください。



シンバルスタンド / ブームスタンドの組み立て

シンバルスタンド / ブームスタンドの脚部を適度に開き、ウイングボルトを締めて固定します。脚部のダイカストジョイントに中間パイプを差し込み、ウイングナット / ウイングボルト*を締めて固定します。さらに、中間パイプのダイカストジョイントに上部パイプを差し込み、同様にウイングナット / ウイングボルト*を締めて固定します。ブームスタンドのブームアームは上部パイプの中に収納されて梱包されています。ウイングナットをゆるめ長さや角度を調節してください。図 13 のリバーシブルナットの取り付けを参照してシンバルをセットし、ティルターをお好みの角度に調節してください(図 12)。

* 930 シリーズのスタンドではウイングナット、830 シリーズのスタンドではウイングボルト仕様になっています。



ヒント

タムホルダーには回転、ズレ防止のためのリングストッパーが付いています。タムタムの位置が決まりましたら、リングストッパーをそれぞれタムホルダーベースとタムタムのマウントにあるみぞにはめ込み、付属のチューニングキーを使ってキーボルトを締めて固定してください(図 10)。

シンバルスタンド・ブームスタンド リバーシブルナットの取付

リバーシブルナットを逆時計方向に回し、上部フェルトワッシャーと共にシンバルポストから抜き取ります。下部フェルトワッシャーの上にシンバル、上部フェルトワッシャーの順にのせ、リバーシブルナットを時計方向に回し締めこみます(図13)。

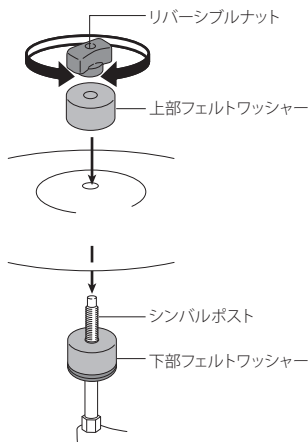
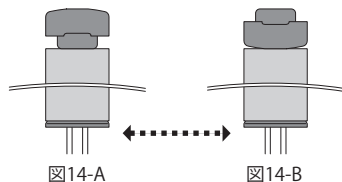


図13

ヒント

リバーシブルナットは取り付ける向きによって、シンバルの動きが自由になるセッティング(図14-A)と、シンバルの揺れをおさえたタイトなサウンドが得られるセッティング(図14-B)が選べます。



スネアドラムのセッティング

スネアスタンドの脚部を適度に開きウイングボルトを締めて固定します。上部をダイカストジョイントに差し込みウイングナット / ウイングボルト*で固定します。ティルターのウイングナットをゆるめバスケットが上向きになる角度に調節してウイングナットを締めて固定します。バスケットを十分に広げ、スネアドラムをストレイナーが左手で自由に操作できる位置におきます。ハンドルナットをしっかり締めてスネアドラムをスタンドに固定してください(図15)。

*S-930 スネアスタンドではウイングナット、S-830 スネアスタンドではウイングボルト仕様になっています。

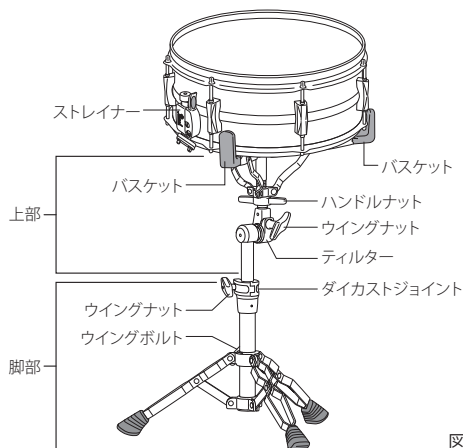


図15

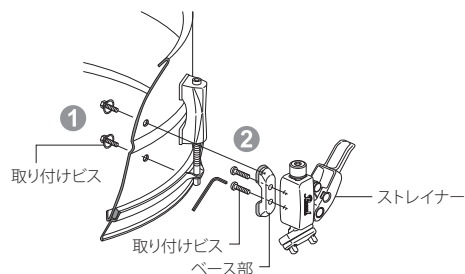
"DUO-MOTION" ストレイナー

(VISION シリーズのみ標準装備)

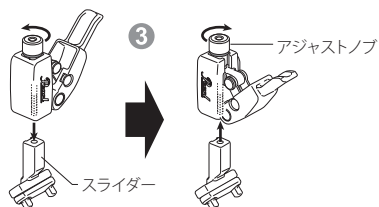
VISION シリーズに標準装備されている "DUO-MOTION" ストレイナーは、ON/OFF スwitchのレバー方向を、お好みにより90度変えることができます。

レバー方向を変更する際は、以下の手順で部品の取り外し、および取り付けを行ってください。

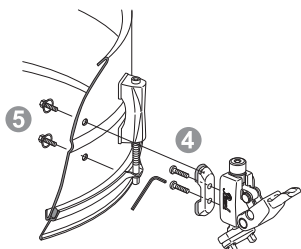
1. シェル内側にあるストレイナー取り付けビス 2個をプラスドライバーでゆるめ、ストレイナーをシェルから取り外します。
2. 六角レンチ (3mm) でベース部の取り付けビス 2個をゆるめ、ベース部をストレイナーから取り外します。



3. アジャストノブをゆるめスライダーを取り外したのち90度向きを変え、アジャストノブを締めながらスライダーをストレイナーへ挿入します。



4. ベース部を六角レンチ (3mm) でストレイナーに取付けます。
5. ベース部を装着したストレイナーをシェルに取り付けて完了です。



※レバーの向きを元に戻す場合、同じ手順 (STEP1~5) で交換を行ってください。

基本的なチューニング

基本的なチューニング (音合わせ) 方法を紹介いたします。まず、対角線上にあるテンションボルトをそれぞれ少しずつ締めながら、全体のピッチを上げていきます (図 16-A, 16-B)。リム (フープ) の近くのヘッド面をスティックなどで軽く叩き (図 17)、音程 (ピッチ) がバラついていたら、テンションボルトの締め具合を調節し、ピッチを整えます。

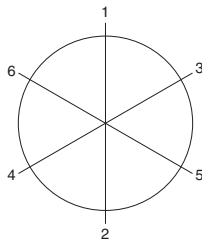


図16-A (6本ボルト)

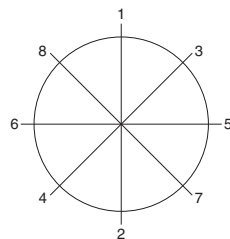


図16-B (8本ボルト)

ヒント

- 一般的なロックサウンドをつくるには、裏側 (ボトム) のヘッドのピッチを打面側 (トップ) よりやや高めにしておくとうよいでしょう。
- バスドラムの場合、ミュート (ヘッドの振動を抑えること) をすると音が締まって叩きやすくなったり、フロントヘッドに穴をあけると音のヌケがよくなる場合があります。一般的なミュートとしては、毛布などをバスドラムの中に入れてたりする方法があります。
- 新しいヘッドはドラムのエッジによくなじませてからチューニングすることをおすすめします。

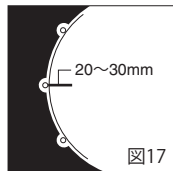


図17 チューニングポイント

⚠ 注意

演奏の前に各スタンド、ドラム、パーツのウイングナット、ウイングボルト、キーボルト等がしっかり締まっていることをご確認ください。

※ドラムペダルとハイハットスタンドはそれぞれのマニュアルをご参照ください。

※各スタンドのセッティングポジションは "ドラムセット完成参考図" を参照してください。

Pearl

パール楽器製造株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1
電話: 047-484-9111 (代表)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田593-1
電話: 047-450-1090 (テクニカルサポート)

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in China
-1212-